

2022年度てんかん地域診療連携体制整備事業
第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会

2022年12月11日（日）10：00～14：30

全国てんかん地域診療支援整備事業の現況

国立精神・神経医療研究センター病院
てんかん診療部、総合てんかんセンター
中川栄二



2022年度第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会と
全国てんかん対策連絡協議会のお知らせ

2022

12/11 日

ZOOMウェビナーで開催

参加費無料



以下URLもしくはQRコードより事前登録してください。
ご参加用リンクを送付いたします。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_QNwb61-XR_OtyebYKutQPg

てんかん診療支援コーディネーター研修会プログラム（各講演研修30分）

1. 全国てんかん地域診療支援整備事業の現況／NCNPてんかん診療部
中川 栄二
 2. てんかんの治療に脳神経外科が果たす役割／NCNP脳神経外科
飯島圭哉
 3. 抗てんかん薬の精神症状への影響／国立病院機構西新潟中央病院
てんかん科 長谷川直哉
 4. てんかん重積状態の診療／名古屋大学大学院障害児（者）
医療学寄附講座 夏目 淳
- 12時～12時半休憩
5. 就労と精神リハビリ／国立病院機構久里浜医療センター 浪久 悠
 6. てんかん看護／国立病院機構名古屋医療センター 原 穂枝
 7. てんかんで利用できる社会福祉制度／NCNP地域連携医療福祉相談室
原 静和

15時～

2022年度第2回全国てんかん対策連絡協議会
ZOOMミーティングで開催



2022年度第2回全国てんかん対策連絡協議会

2022年12月11日（日） 15時～17時
ZOOMミーティングで開催

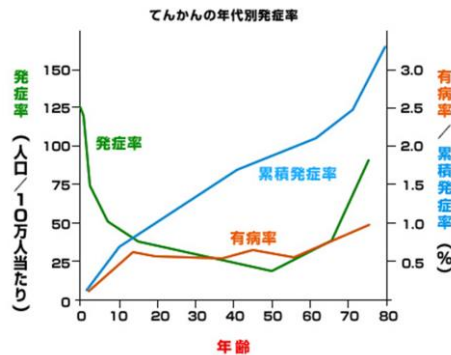
1. 厚生労働省からの挨拶・報告／田中裕記（10分）
2. てんかん学会からの挨拶・報告／川合謙介 理事長（10分）
3. てんかん協会からの挨拶・報告／梅本里美 理事長（10分）
4. 全国てんかん支援拠点からの報告／中川栄二（10分）
5. てんかん地域支援施設からの報告（各15分間）
 - 1) 徳島大学てんかんセンター 徳島大学病院
てんかんセンター・脳神経外科 多田恵曜
 - 2) 聖マリアンナ医大てんかんセンター
聖マリアンナ医科大学脳神経外科学 太組一朗
 - 3) 国立病院機構奈良医療センターてんかんセンター 平林秀裕
6. 総合討論

（敬称略）



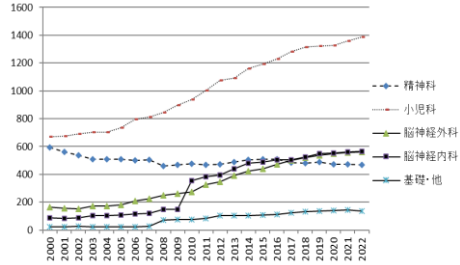
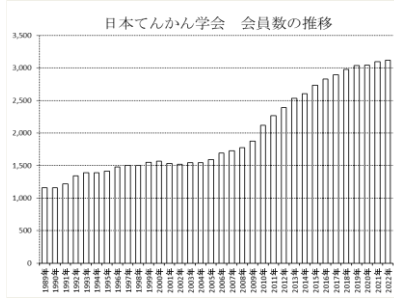
てんかん患者数、増加傾向か減少傾向か、治療の現状

- てんかんは、小児から高齢者まで、どの年齢でも誰でもが発症する可能性がある患者数の多い病気（**0.8～1%：本邦約100万人**）
- 特に**高齢者の発症率は高く**、高齢者人口の増加しているわが国では、今後更にてんかん医療の必要性が増加する
- てんかん患者の7～8割は適切な内科的・外科的治療により発作が抑制され、日常生活や就労を含む社会生活を営むことが可能である
- わが国では**成人てんかんを診る専門医**が不足している
- **てんかんに対する知識不足と偏見**から、患者の社会進出が妨げられている



4
Haut SR, et al. Lancet Neurol. 2006 5(2):148-157

日本てんかん学会 会員数・専門医数の変化



会員の専門割合2022/9/10現在

	2021.9	2022.9
小児科	1357	1388
精神科	472	468
脳神経内科	563	566
脳神経外科	558	563
基礎・医師以外	145	136
合計	3095	3121

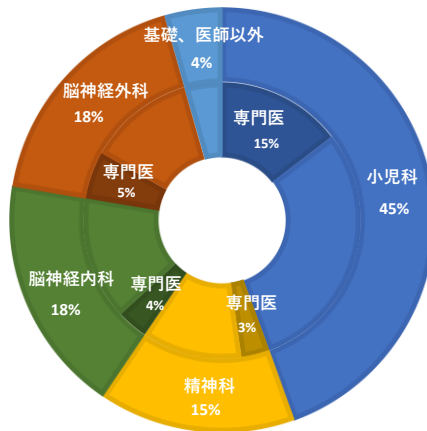
てんかん専門医の専門割合2022/9/10現在

	2021.9	2022.9
小児科	428	456
精神科	98	101
脳神経内科	104	114
脳神経外科	163	172
基礎・医師以外	0	0
合計	793	843

2022年度日本てんかん学会社員総会資料および日本てんかん学会HP専門医名簿参照

5

日本てんかん学会会員構成



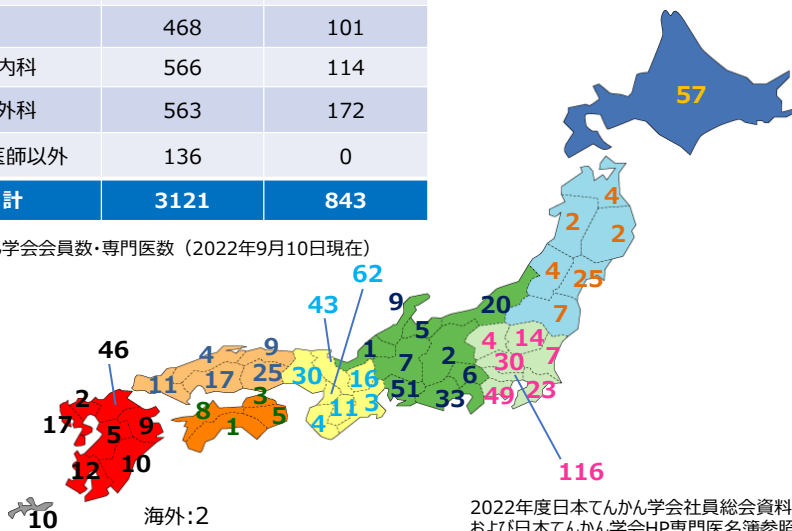
日本てんかん学会会員構成 (2022年9月10日現在)

2022年度日本てんかん学会社員総会資料および日本てんかん学会HP専門医名簿参照 6

都道府県別のてんかん専門医

診療科	会員数(人)	専門医数(人)
小児科	1388	456
精神科	468	101
脳神経内科	566	114
脳神経外科	563	172
基礎・医師以外	136	0
計	3121	843

てんかん学会会員数・専門医数(2022年9月10日現在)



2022年度日本てんかん学会社員総会資料
および日本てんかん学会HP専門医名簿参照

第13回医療計画の見直し
等に際する検討会
平成30年9月28日 資料 1-2

第7次医療計画における5疾病・5事業 (がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、**精神疾患**、救急、災害、へき地、周産期、小児) 及び在宅医療の医療体制

(目次)

・がん	1	・救急医療	97
・脳卒中	17	・災害時における医療	112
・心筋梗塞等の心血管疾患	34	・へき地の医療	125
・糖尿病	51	・周産期医療	140
・精神疾患	63	・小児医療(小児救急含む)	158
		・在宅医療	173

各都道府県では、国の定める基本方針に基づき、地域の实情に応じて医療提供体制を充実させるために、医療計画を作成している。医療計画は原則、6年ごとに改定され、最新版は**第7次医療計画(2018~2023年度)**。

5疾病・5事業は、この医療計画に記載されている重要なテーマ。疾病や事業ごとの医療資源、医療連携に関する現状を把握し、課題の抽出や見直しが行われている。

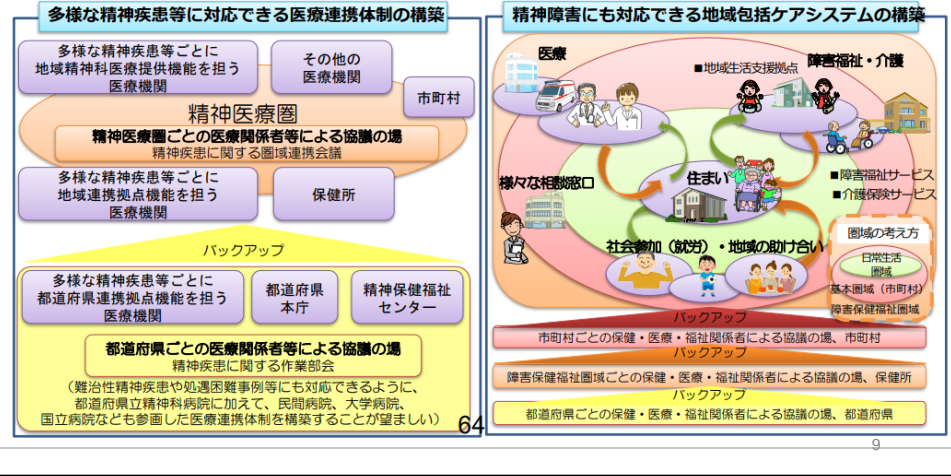
・5疾病…5つの疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、**精神疾患**)

・5事業…5つの事業(救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療(小児救急医療を含む))

なお、5疾病・5事業は、第8次医療計画(2024~2030年度)から「振興感染症拡大時の医療」が事業に追加され、5疾病・6事業になる。

精神疾患の医療体制の構築について

- 精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進める必要がある。
- 2020年度末・2024年度末の精神病床における入院需要（患者数）及び、地域移行に伴う基盤整備量（利用者数）の目標を明確にした上で、障害福祉計画等と整合性を図りながら地域の精神保健医療福祉体制の基盤整備を推し進める必要がある。
- 統合失調症、うつ病、認知症、児童・思春期精神疾患、依存症などの多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けて、多様な精神疾患等ごとに医療機関の役割分担・連携を推進するとともに、患者本位の医療を実現していきけるよう、各医療機関の医療機能を明確化する必要がある。



指針のポイント①（医療機能の明確化）

精神疾患の医療体制に求められる医療機能を地域精神科医療提供機能、地域連携拠点機能、都道府県連携拠点機能と示している。都道府県は、多様な精神疾患等毎に各医療機能の内容について、地域の实情に応じて柔軟に設定する。

対応方針（多様な精神疾患等ごとに医療機能の明確化）		*アルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル等依存症に区分して対応														
医療機能	役割要件	統合失調症	うつ病	認知症	児童	発達障害	依存症（*）	PTSD	高次脳	摂食障害	てんかん	精神科救急	身体合併症	自殺対策	災害精神	医師観察
都道府県連携拠点機能	目標	①患者本位の精神科医療を提供すること②ICFの基本的考え方を踏まえながら多職種協働による支援を提供すること③地域の保健医療福祉介護の関係機関との連携・協力を行うこと④医療連携の都道府県拠点の役割を果たすこと⑤情報収集発信の都道府県拠点の役割を果たすこと⑥人材育成の都道府県拠点の役割を果たすこと⑦地域連携拠点機能を支援する役割を果たすこと														
	求められる事項（※）	①患者の状況に応じて、適切な精神科医療（外来医療、訪問診療を含む。）を提供するとともに、精神症状悪化時等の緊急時の対応体制や連絡体制を確保すること②精神科医、薬剤師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等の多職種によるチームによる支援体制を作ること③医療機関（救急医療、周産期医療を含む。）、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と連携し、生活の場で必要な支援を提供すること④地域連携会議を運営すること⑤積極的な情報発信を行うこと⑥多職種による研修プログラムを提供すること⑦地域連携拠点機能を担う医療機関からの個別相談への対応や、難治性精神疾患・処遇困難事例の受入対応を行うこと														
地域連携拠点機能	目標	①患者本位の精神科医療を提供すること②ICFの基本的考え方を踏まえながら多職種協働による支援を提供すること③地域の保健医療福祉介護の関係機関との連携・協力を行うこと④医療連携の地域拠点の役割を果たすこと⑤情報収集発信の地域拠点の役割を果たすこと⑥人材育成の地域拠点の役割を果たすこと⑦地域精神科医療提供機能を支援する役割を果たすこと														
	求められる事項（※）	①患者の状況に応じて、適切な精神科医療（外来医療、訪問診療を含む。）を提供するとともに、精神症状悪化時等の緊急時の対応体制や連絡体制を確保すること③精神科医、薬剤師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等の多職種によるチームによる支援体制を作ること③医療機関（救急医療、周産期医療を含む。）、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と連携し、生活の場で必要な支援を提供すること④地域連携会議を運営すること⑤積極的な情報発信を行うこと⑥多職種による研修を企画・実施すること⑦地域精神科医療提供機能を担う医療機関からの個別相談への対応や、難治性精神疾患・処遇困難事例の受入対応を行うこと														
地域精神科医療提供機能	目標	①患者本位の精神科医療を提供すること②ICFの基本的考え方を踏まえながら多職種協働による支援を提供すること③地域の保健医療福祉介護の関係機関との連携・協力を行うこと														
	求められる事項（※）	①患者の状況に応じて、適切な精神科医療（外来医療、訪問診療を含む。）を提供するとともに、精神症状悪化時等の緊急時の対応体制や連絡体制を確保すること②精神科医、薬剤師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等の多職種によるチームによる支援体制を作ること③医療機関（救急医療、周産期医療を含む。）、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と連携し、生活の場で必要な支援を提供すること														

※疾患等毎に都道府県連携拠点機能を担う医療機関を、1か所以上医療計画に明記することが望ましい。複数明記する場合は、一体的に機能できるように考慮すること。

指針のポイント①（医療機能の明確化）

医療計画上の多様な精神疾患等ごとの医療機能の明確化のイメージ

*アルコール依存症、物質依存症、ギャンブル等依存症に区分して対応

圏域	医療機関	統合失調症	うつ病等	認知症	児童・発達障害	依存症(*)	PTSD	高次脳機能障害	摂食障害	てんかん	精神科救急	身体合併症	自殺対策	災害精神	医療観察	
全域	A病院	☆		☆						☆	☆	☆	☆	☆	☆	
	B病院	☆	☆	☆			☆				☆	☆	☆			
	C病院				☆	☆	☆	☆	☆							
○○圏域	A病院				◎	◎			◎							
	D病院	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	E病院	◎	○	◎				○		◎		○	○	○		
	F診療所	○		○	○	○			○		○					
	G診療所	○	○	○		○	○	○						○	○	
	H訪看ST	○		○				○				○				
	△△圏域	B病院	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
		I病院	◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎	◎		
J病院		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		
K病院		○	○	○		○					○			○		
L診療所		○		○						○						
M診療所		○	○						○							
◆◆圏域	C病院	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	N病院	◎	◎	◎		○		○	○	○	○	○		○		
	O診療所	○		○				○	○							

☆：都道府県連携拠点機能を担う医療機関、◎：地域連携拠点機能を担う医療機関、○：地域精神科医療提供機能を担う医療機関

(1) 精神医療提供体制 都道府県の精神医療機能明確化の取組状況③

○ 都道府県連携拠点機能を担う医療機関を設定している都道府県数は、疾患毎にばらついている。

15疾患等別の都道府県全域での精神医療の医療機能明確化状況

	統合失調症	うつ病等	認知症	児童・思春期精神疾患	発達障害	依存症			PTSD	高次脳機能障害	摂食障害	てんかん	精神科救急	身体合併症	自殺対策	災害精神医療
						アルコール依存症	薬物依存症	ギャンブル等依存症								
都道府県連携拠点機能	19	19	18	22	19	24	18	17	14	19	20	22	20	17	14	20
地域連携拠点機能	15	15	21	15	14	13	12	10	11	13	13	14	17	13	12	13
地域精神科医療提供機能	23	24	22	25	22	24	23	22	23	21	24	26	22	23	14	15

※鳥取県は除く
出典：厚生労働省医政局調べ（平成30年3月時点（暫定値））

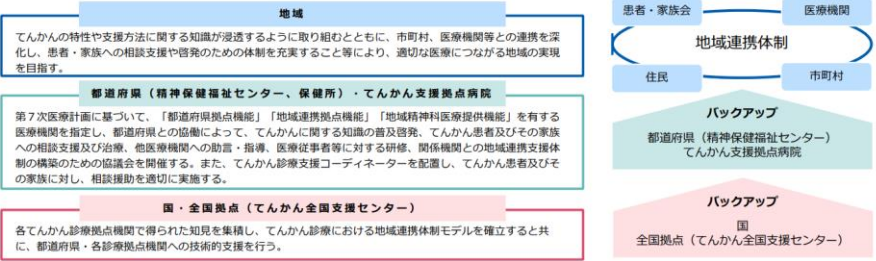
てんかん地域診療連携体制整備事業

令和3年度予算：17,817千円 → 令和4年度予算：19,092千円

てんかん患者が、地域において適切な支援を受けられるよう、てんかん診療における地域連携の在り方を提示し、てんかん拠点医療機関間のネットワーク強化により全国で均一なてんかん診療を行える体制を整備。

現状と課題

平成30年度からの第7次医療計画により、各都道府県において、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けて、「良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針」を踏まえて、多様な精神疾患等ごとに医療機能を明確化することとされており、国が国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターをてんかん全国支援センターに指定し、都道府県において、てんかんの治療を専門的に行っている医療機関のうち、1か所をてんかん支援拠点病院として指定し、各都道府県のてんかんの医療連携体制の構築に向けて、知見の集積やてんかん診療のネットワーク作り等を引き続き進めていく必要がある。



期待される成果

1. 地域住民や医療従事者に対して、てんかんに関する正しい知識の普及
2. てんかん診療における地域連携体制構築、てんかん診療の均てん化

事業内容

てんかんの専門医療機関の地域数の増加、まずは三次医療圏（都道府県）の設置を目指し、てんかん支援拠点病院を設置する都道府県に対して国庫補助（1/2）を行う。

主な事業内容

1. てんかん患者・家族の治療及び相談支援
2. てんかん治療医療連携協議会の設置・運営
3. てんかん診療支援コーディネーター（※）の配置
4. 医療従事者（医師、看護師等）等向け研修
5. 市民向けの普及啓発（公開講座、講演、リーフレットの作成等）

※てんかん診療コーディネーター

精神障害者福祉に理解と熱意を有し、てんかん患者及びその家族に対し相談援助を適切に実施する能力を有する医療・福祉に関する国家資格を有する者

てんかん支援拠点病院の要件

てんかんの治療を専門に行っている次に掲げる要件を全て満たす医療機関

1. 日本てんかん学会、日本神経学会、日本精神神経学会、日本小児科神経学会、又は日本脳神経外科学会が定める専門医が1名以上配置されていること。
2. 脳波検査やMRI I が整備されているほか、発作時ビデオ脳波モニタリングによる診断が行えること。
3. てんかんの外科治療のほか、複数の診療科による集学的治療を行えること。

参画医療機関（令和4年12月時点）

- ・てんかん全国支援センター（1か所）：国立精神・神経医療研究センター
- ・てんかん支援拠点病院（25か所）：
 - 北海道（札幌医科大学附属病院）、宮城県（東北大学病院）、茨城県（筑波大学附属病院）、栃木県（自治医科大学附属病院）、群馬県（渋川医療センター）、埼玉県（埼玉医科大学病院）、千葉県（千葉県循環器病センター）、神奈川県（聖マリアンナ医科大学病院）、新潟県（西新潟中央病院）、石川県（浅川総合病院）、山梨県（山梨大学医学部附属病院）、長野県（信州大学医学部附属病院）、静岡県（静岡てんかん・神経医療センター）、愛知県（名古屋大学医学部附属病院）、大阪府（大阪大学医学部附属病院）、奈良県（奈良医療センター）、鳥取県（鳥取大学医学部附属病院）、岡山県（岡山大学病院てんかんセンター）、広島県（広島大学病院）、徳島県（徳島大学病院）、長崎県（長崎医療センター）、鹿児島県（鹿児島大学病院）、沖縄県（沖縄赤十字病院）、兵庫県（神戸大学医学部附属病院）、東京都（国立精神・神経医療研究センター）

指定（予定）

- * 京都府 京都大学附属病院（令和4年12月1日指定）
- * 福岡県 九州大学病院

てんかん診療全国拠点機関及びてんかん診療拠点機関 (令和4年12月現在)

全国てんかん支援センター (NCNP全国 1カ所)

てんかん診療拠点機関 (全国25カ所)

* 全国27カ所予定



[NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより追記](#)

国立精神・神経医療研究センター病院。患者のギモンに答える！てんかん診療のための相談サポートQ&A。2021。

15

全国てんかん支援センターが行っていること

- (1) てんかん地域診療連携：移行期医療
- (2) てんかん診療支援コーディネーター認定制度
- (3) てんかん支援ネットワークの構築

16

(1) てんかん地域診療連携：移行期医療



てんかん患者の脳波・画像・代謝・発達・遺伝学的診断
内科的治療・外科的治療

精神運動発達遅滞・発達障害・精神症状への対応支援



福祉・就学・就労・社会適応への対応

小児医療から成人医療への連携

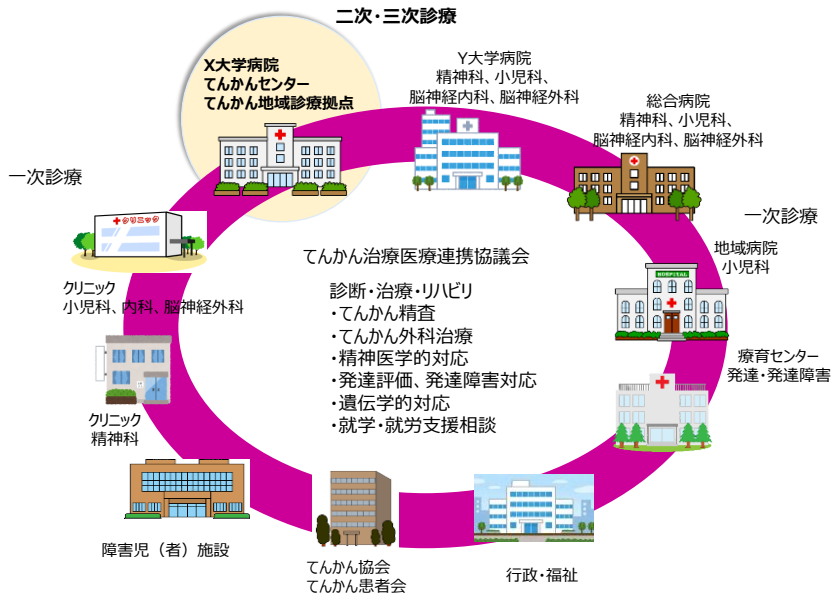
女性の妊娠・出産への対応

施設間合同検討による
適切な診断・治療選択、
地域連携



中川栄二. 精神科. 36 (6) 2020. 中川栄二. CLINICIAN. 20 (681) ; 2020.中川栄二. 小児内科. 2022.7

てんかん地域診療コンソーシアム

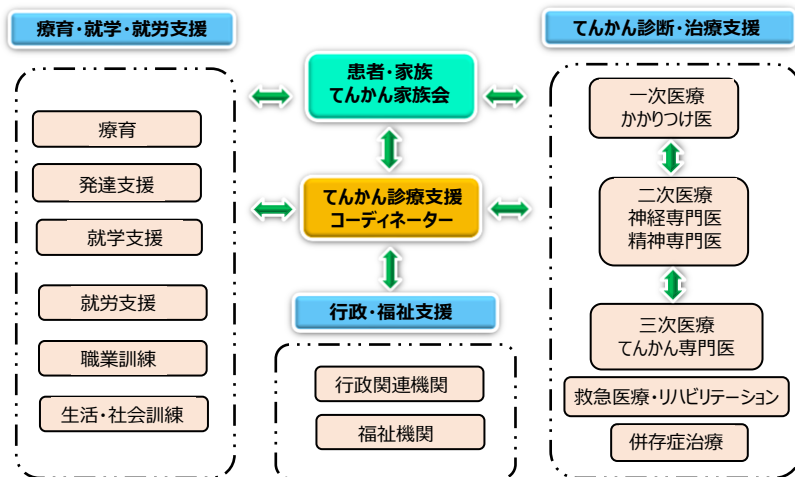


中川栄二. 精神科. 36 (6) 2020. 中川栄二. CLINICIAN. 20 (681) ; 2020.中川栄二. 小児内科. 2022.

- てんかん地域診療連携体制整備事業
- てんかん地域診療連携：移行期医療
- てんかん診療支援コーディネーター認定制度
- てんかん支援ネットワークの構築

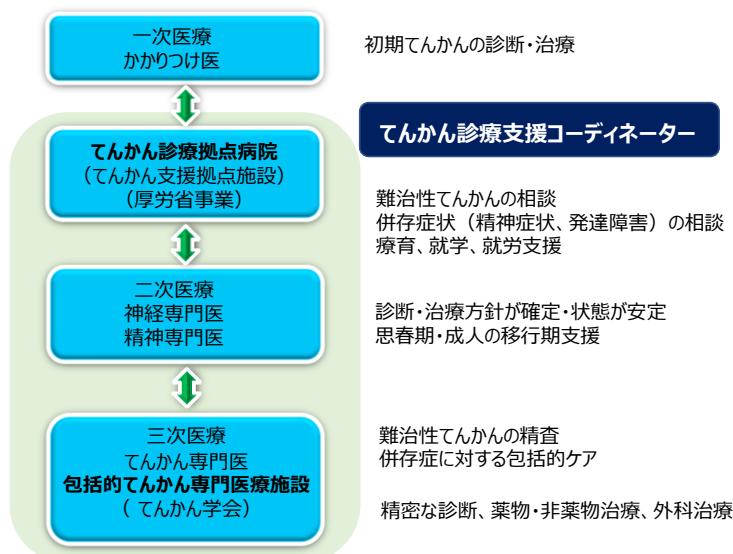


(2) てんかん診療支援コーディネーター



中川栄二. 精神科. 2020. 中川栄二. CLINICIAN. 2020. 中川栄二. 小児内科. 2022.
 国立精神・神経医療研究センター病院. 患者のギモンに答える！てんかん診療のための相談サポートQ&A. 2021.

てんかん診療支援の流れ



中川栄二. 精神科. 36 (6) 2020. 中川栄二. CLINICIAN. 20 (681) ; 2020.中川栄二. 小児内科. 2022.¹

てんかん診療拠点機関診療支援コーディネーター

(役割)

てんかん診療拠点施設において、てんかん診療が円滑に行われるような医療側と患者側の調整

(要件)

以下のすべての要件を満たすものである。

- 1) てんかん診療拠点施設に従事するもの
- 2) 社会保険制度、社会福祉制度に関する基本的な知識をもつもの
- 3) てんかんに関する基礎知識をもつもの
- 4) 患者側の不安や心理的ストレスに対する初歩的な心理相談能力をもつもの
- 5) **医療・福祉に関する国家資格を保有するもの**

(業務)

- i) てんかん患者及びその家族への専門的な相談支援及び助言
- ii) 管内の連携医療機関等への助言・指導
- iii) 関係機関（精神保健福祉センター、管内の医療機関、保健所、市町村、福祉事務所、公共職業安定所等）との連携・調整
- iv) 医療従事者、関係機関職員、てんかん患者及びその家族等に対する研修の実施
- v) てんかん患者及びその家族、地域住民等への普及啓発

てんかん地域診療連携体制整備事業（厚労省、自治体）における てんかん診療コーディネーター認定制度の整備

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

（目的）

てんかん地域診療の裾野を広げるため、てんかん患者・家族と医療機関、福祉、行政機関との橋渡しを行う

（対象）

てんかん地域診療機関ならびに連絡協議会に属する協力機関・施設（医療、福祉、行政）において、**てんかん診療に携わる何らかの国家資格**を有するもの

（認定のための基本）

基本ポイント（研修会：3時間以上の講義）

- ① てんかん地域診療連携体制整備事業が行う研修会（年2回開催）
- ② 全国てんかんセンター協議会（JEPICA）が行う総会2日間への参加（年1回開催）
- ③ 地域てんかん診療拠点機関が行う研修会
- ④ てんかん学会、国際抗てんかん連盟関連の学会、地方会

上記3回の講座受講で認定証を発行する。以降3年間に上記の研修会、学会に6回以上の参加を基本とする。3年ごとに更新する。2020年度から暫定認定証を発行。

てんかん診療拠点講習会

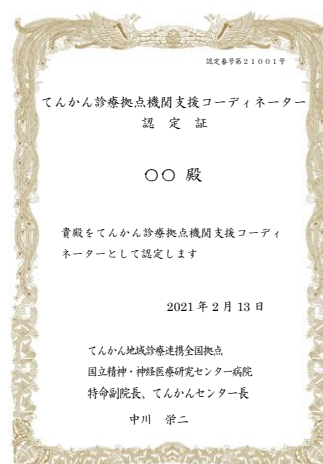
2022年8月7日（日）、2022年12月11日（日）、2023年2月10-12日JEPICA宇都宮

てんかん診療支援コーディネーター受講証ならびに認定証は全国てんかん拠点機関が発行する

[NCNP てんかん診療全国拠点機関 HP](#)より 23



受講証発行数432



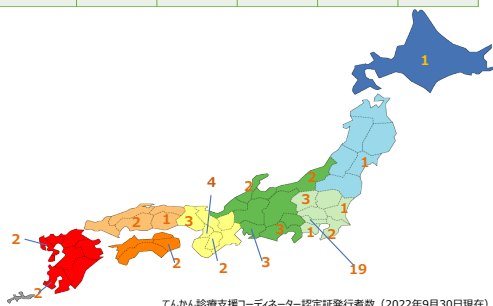
認定証発行数56

[NCNP てんかん診療全国拠点機関 HP](#)より

24

てんかん診療支援コーディネーター研修会受講者・認定者

過去の研修会での受講者数					
2020年度 第1回	2020年度 第2回	2021年度 第1回	2021年度 第2回	2022年度 第1回	総受講者数
55	93	116	171	247	682
職種別受講者数					
医師	看護師	SW	その他	計	
207	105	114	256	682	
受講証発行数					
2020年度 第1回	2020年度 第2回	2021年度 第1回	2021年度 第2回	2022年度 第1回	総発行数
55	93	56	89	139	432
職種別受講証発行数					
医師	看護師	SW	その他	計	
94	92	93	153	432	
認定証発行数					
2020年度	2021年度	2022年度	計		
6	32	18	56		
職種別認定証発行数					
医師	看護師	SW	その他	計	
14	10	18	14	56	



25

2022年度てんかん診療支援コーディネーター研修会 2022年8月7日(日)

てんかん診療支援コーディネーター研修会プログラム (各講演研修30分)

1. 全国てんかん地域診療支援整備事業の現況／NCNPてんかん診療部
中川 栄二
1. てんかんの疫学／NCNP小児神経診療部 齋藤 貴志
2. てんかん外科／NCNP脳神経外科診療部 岩崎 真樹
3. てんかんと循環器疾患／NCNP循環器内科 瀬川 和彦

12時～12時半休憩

5. てんかんの遠隔医療／大阪市立総合医療センター 岡崎 伸
6. てんかんと睡眠、発達障害／山梨大学小児科 加賀 佳美
7. 成人のてんかんと発達障害／NCNPてんかん診療部 宮川 希
8. てんかん

15時～
2022年度第
ZOOMミー

A1 てんかん診療支援コーディネーター に関するアンケート

R4年度第1回てんかんコーディネーター研修会参加者のみなさま

今回の研修会やてんかん診療支援コーディネーターの業務に関して、アンケートを実施しております。
アンケートの結果は、学会等あるいは学術誌上で発表し、今後のコーディネーターの活動に関する議論の基礎的な資料とさせていただきます。

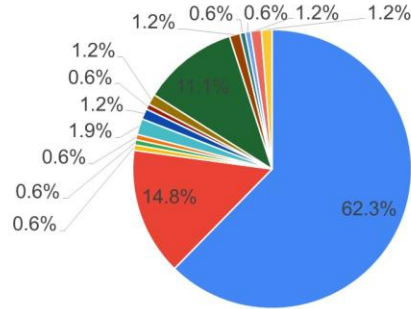
ご回答はお一人につき一度だけお願いいたします。また、回答が終わったあと、後からの修正はできません。また、本アンケートでは、回答者のお名前、所属施設、メールアドレスなどの個人情報の収集は行いません。

ご多忙のところとは存じますが、是非ご協力いただけますようお願い申し上げます。



26

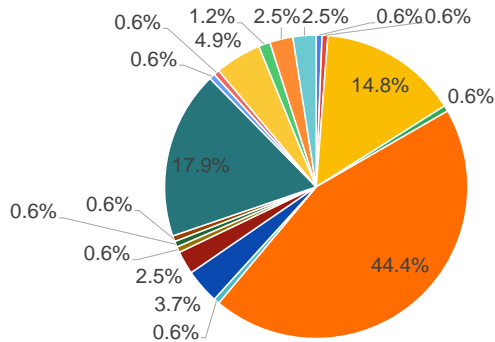
所属施設を選んでください。複数の所属がある場合は主な施設を選択してください。



- てんかん支援拠点病院またはてんかん全国支援センター
- 患者家族
- 町医療的ケア児支援センター
- 所属施設はない
- 障害者施設
- 診療所・クリニック
- 製薬会社
- 知的障害者施設
- てんかん支援拠点病院以外の大学病院 (医学部・看護学部等医療系学部所属も含む)
- 居宅介護支援事業所
- 国・自治体・その他団体
- 障害者支援施設
- 上記に当てはまらない病院
- 生活介護事業所
- 大学 (医学部・看護学部・病院以外)

27

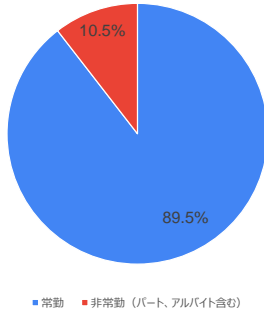
あなたのもつ資格をお答えください。複数ある方は、現在の主な業務に最も関係のある資格を選択してください。



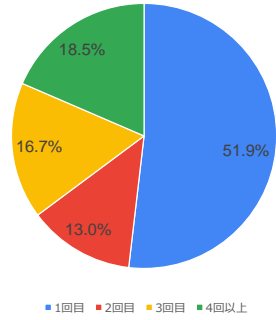
- なし
- 医師・歯科医師
- 看護師
- 検査技師・臨床工学士・診療放射線技師
- 支援員
- 事務職員
- 社会保険労務士
- 精神保健福祉士
- ヘルパー2級
- 介護支援専門員
- 管理栄養士
- 公認心理師
- 事務職
- 社会福祉士
- 獣医師
- 保健師

28

雇用形態を教えてください

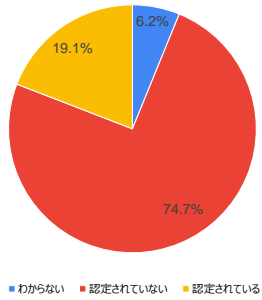


これまでにてんかんコーディネーター研修会の参加回数を教えてください。

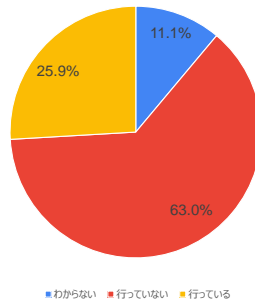


併任

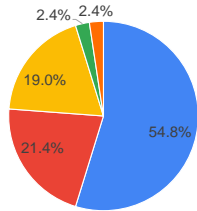
ご自身は認定てんかんコーディネーターですか？



認定コーディネーターかどうかにかかわらず、ご自身はてんかんコーディネーターとして業務を行なっていますか？

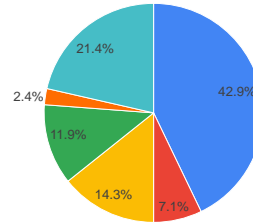


ご自身の勤務時間のうち、てんかん診療支援コーディネーターとしての業務割合として、一番近いものを選んでください？



- 25%以下 (コーディネーター業務以外が中心)
- 25~50% (コーディネーター業務がやや少ない)
- 50~74% (コーディネーター業務がやや多い)
- 75~99% (コーディネーター業務中心)
- 100% (コーディネーター業務のみ)

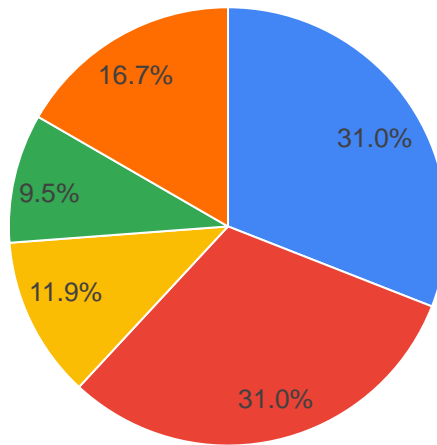
てんかん診療支援コーディネーターとして週にどのくらいの活動をしていますか？



- 1日未満
- 1日
- 2日
- 3日
- 4日
- 5日以上

31

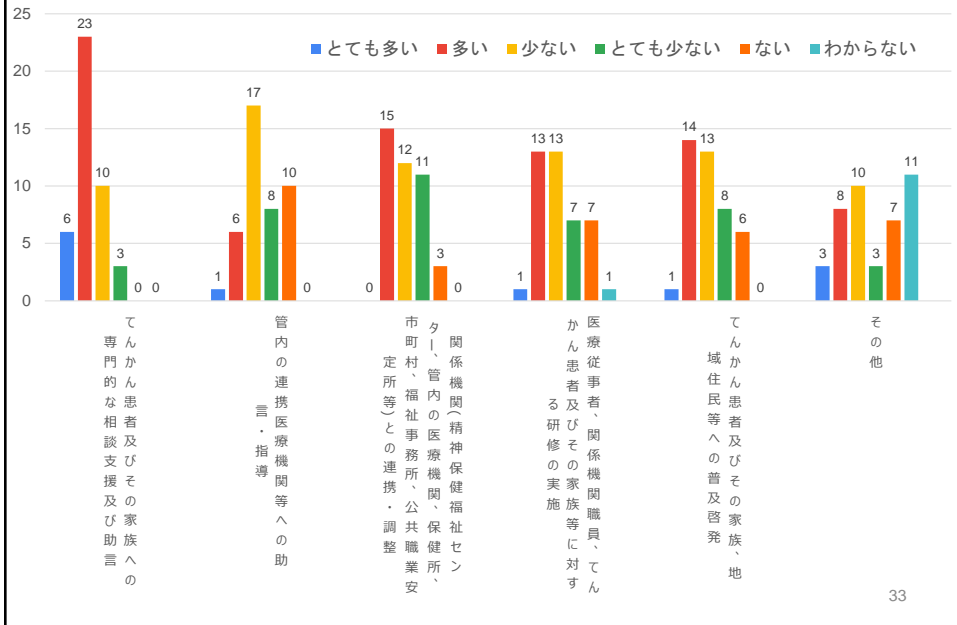
所属施設のてんかん診療支援コーディネーターの人数はあなたを含めて何人ですか？



- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- それ以上

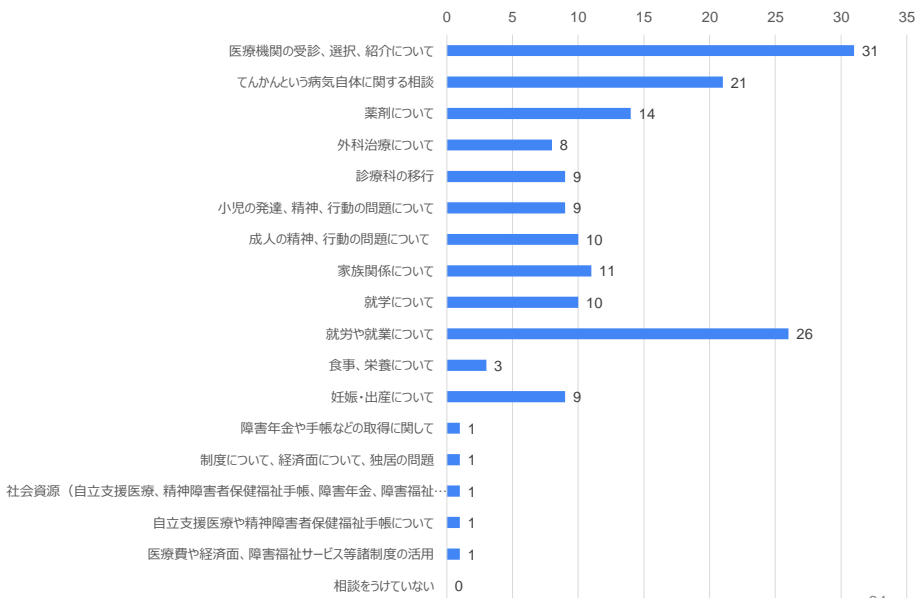
32

以下の業務の業務量について、一番当てはまるものを選んでください。



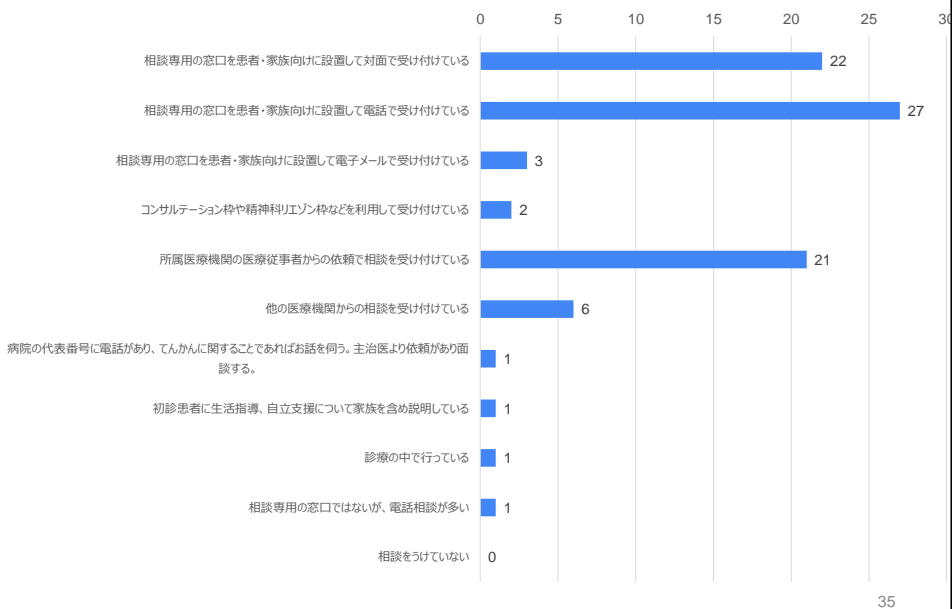
33

患者・家族からコーディネーターへの相談はどのような内容が多いですか？（複数回答可）

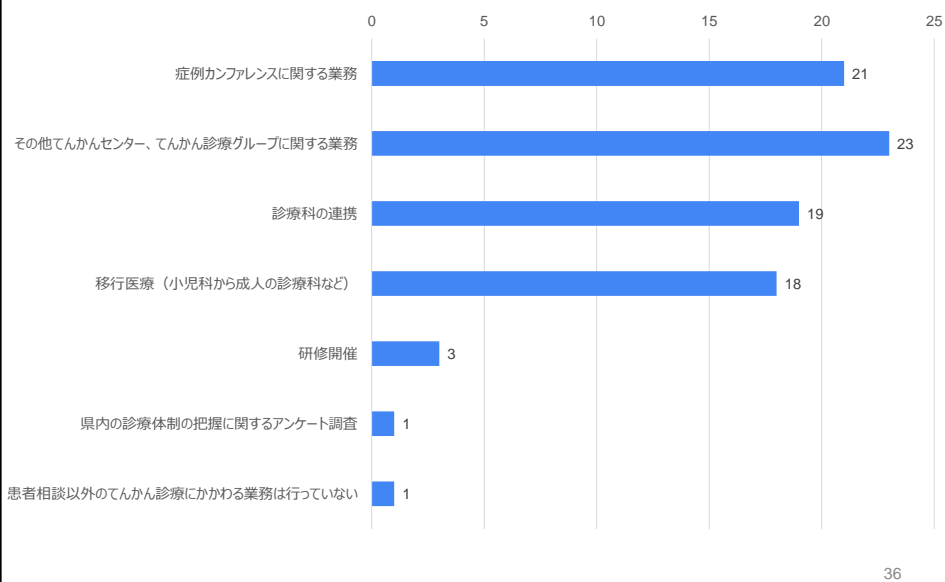


34

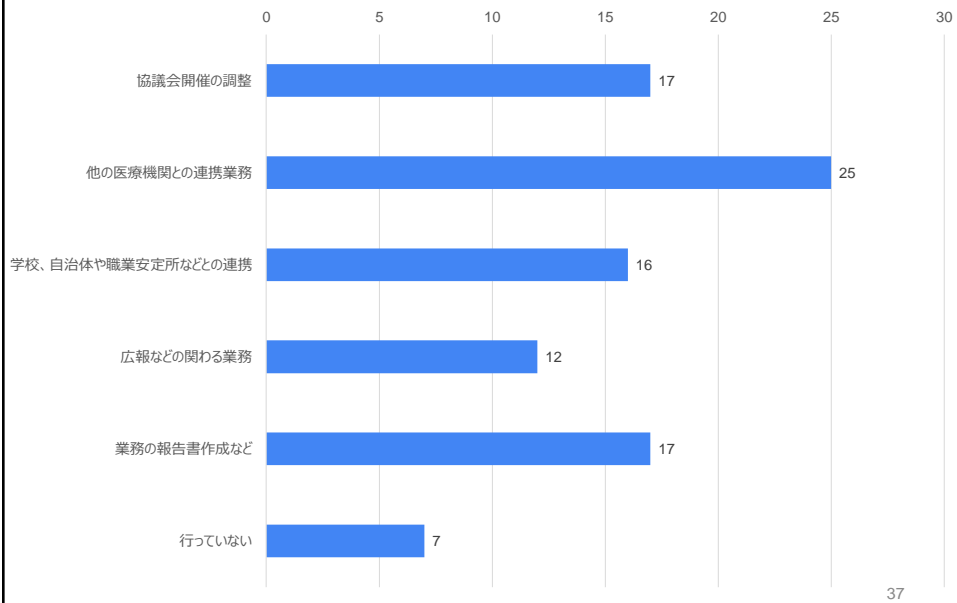
患者・家族からの相談の依頼はどのように受け付けていますか？（複数回答可）



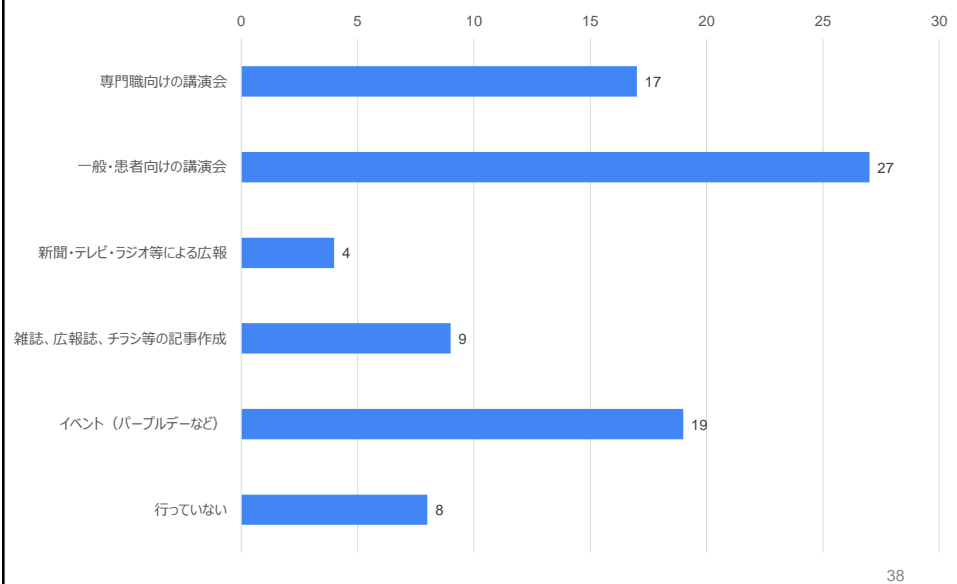
患者相談以外に所属施設内で行っている業務をお答えください（複数回答可）



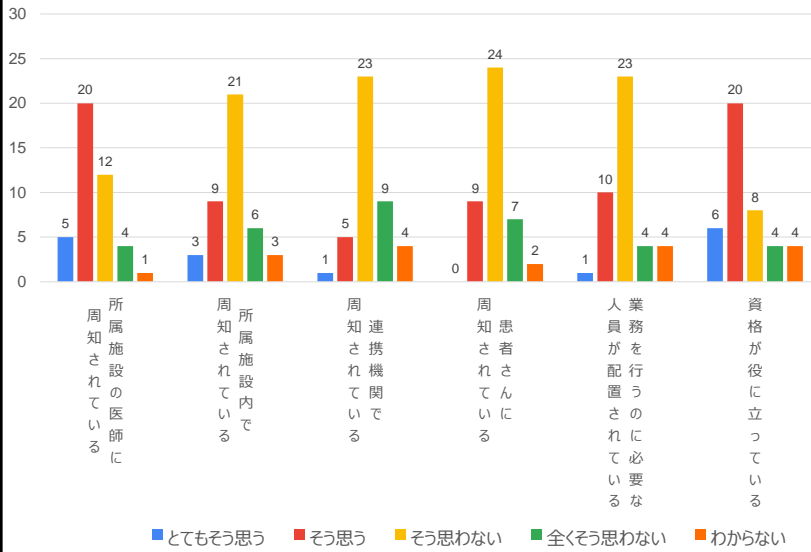
所属施設外の関連機関との連携に関する業務で行っていることをお答えください。（複数回答可）



啓発活動で行っていることを教えてください。（複数回答可）

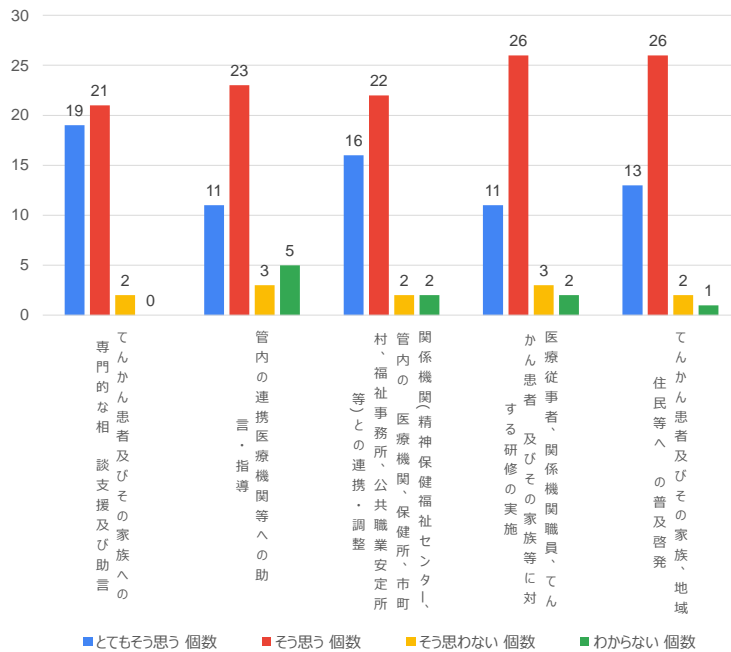


ご自身のコーディネーターの業務について、当てはまると思うものを選んでください。

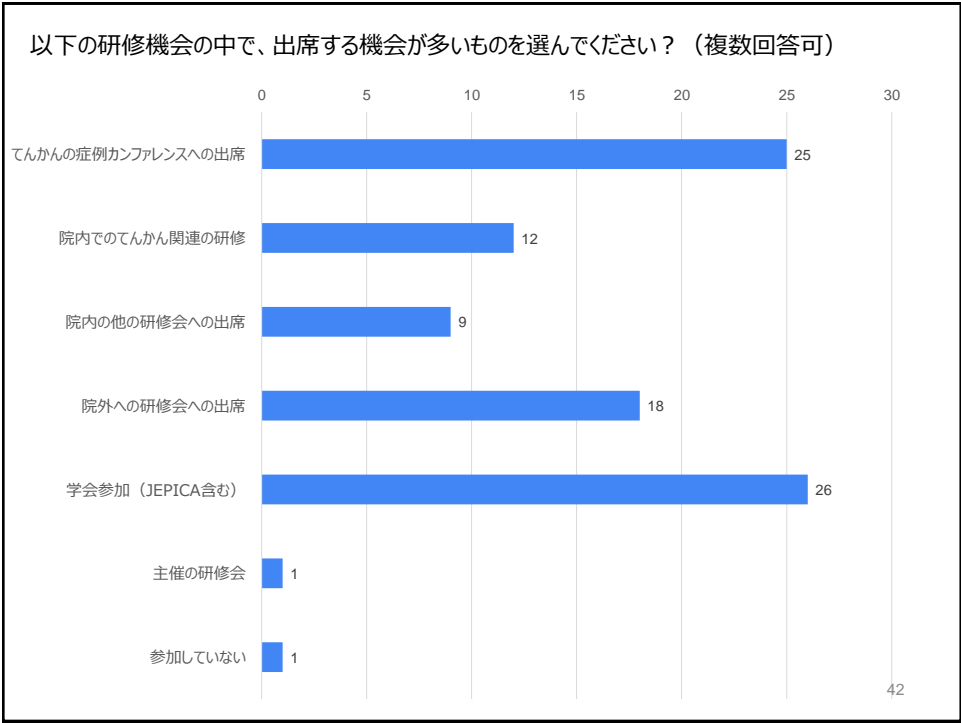
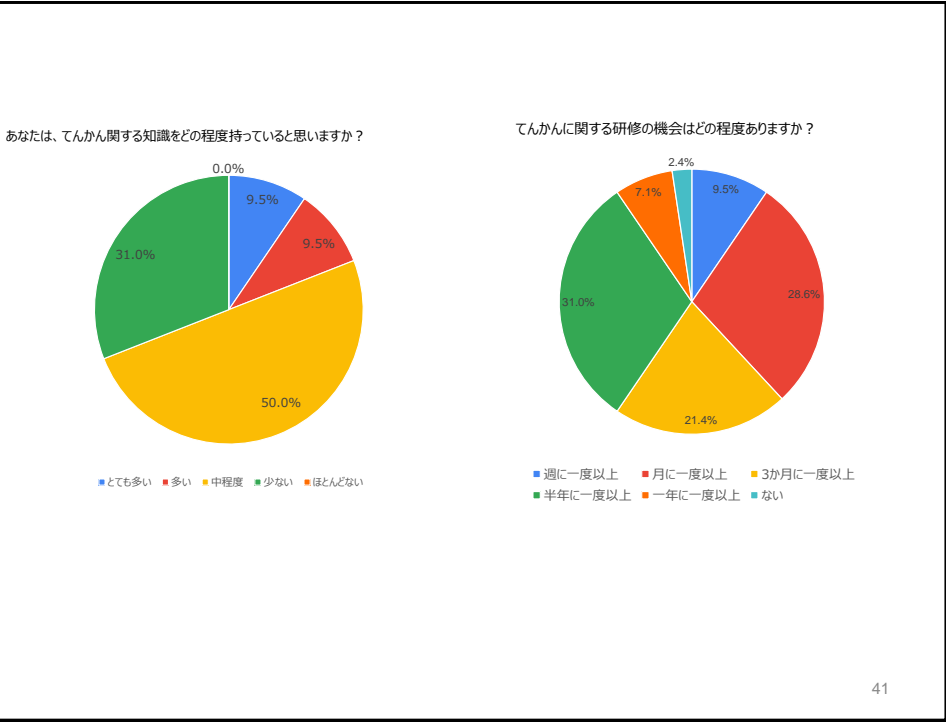


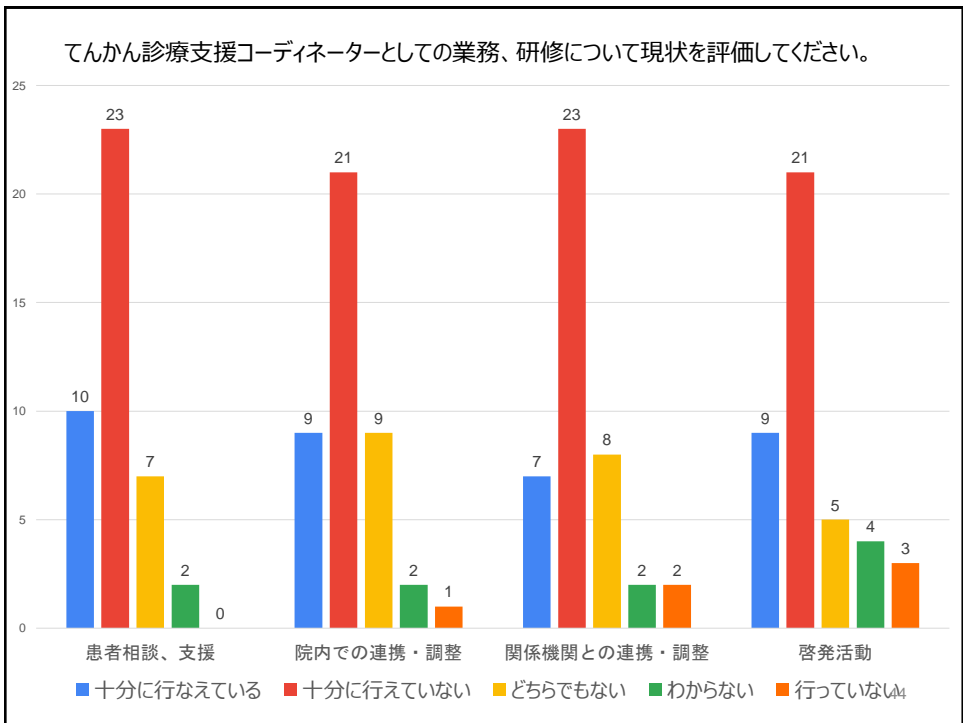
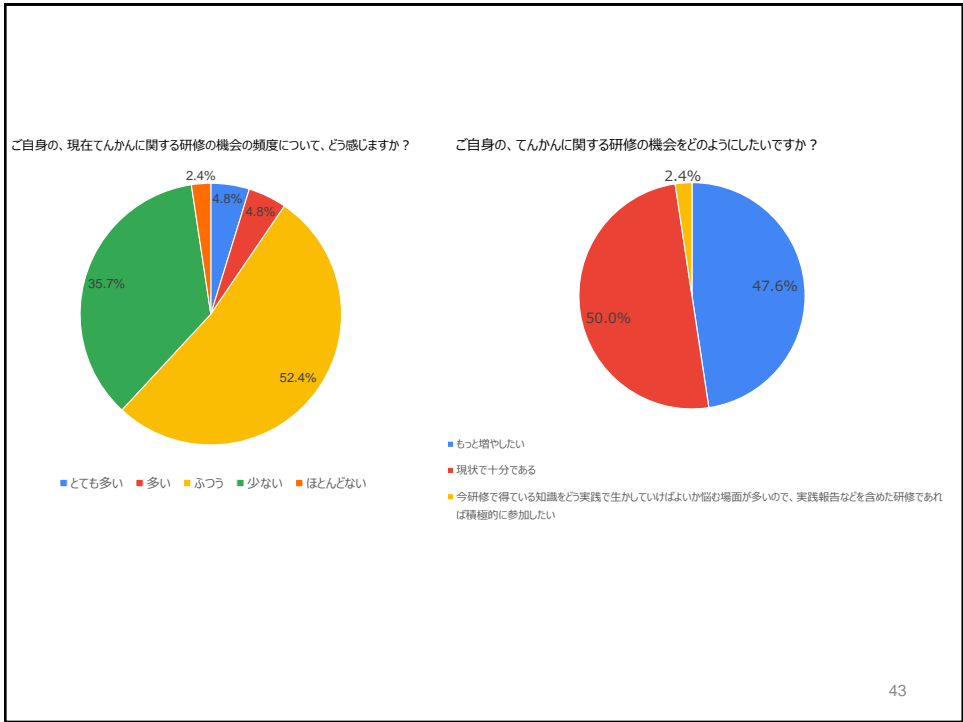
39

以下の業務の業務に関して、コーディネーターは必要だと思いますか？



40







第10回全国てんかんセンター協議会

(JPICA 2023 栃木大会)

- HOME
- 会長挨拶
- 開催概要
- プログラム・日程表
- 参加登録
- 講師募集案内・登録
- 座長・演者の皆様へ
- 参加者の皆様へ
- 会場
- お問い合わせ
- 関連リンク

事務局

自治医科大学脳神経外科
〒329-0498
栃木県下野市栗原寺3311-1
TEL: 0285-58-7373
FAX: 0285-44-5147

連絡事務局

株式会社コンベックス内
〒106-0041
東京都港区麻布台1-11-9
BPRプレイス神谷町
TEL: 03-3505-1608
FAX: 03-3505-3366
E-mail: jepica2023@convex.co.jp



The 56th Annual Congress of the Japan Epilepsy Society

第56回日本てんかん学会学術集会

会長 中川 栄二 国立精神・神経医療研究センター病院 特命副院長/てんかん診療部長/総合てんかんセンター長

副会長 山内 秀雄 埼玉医科大学 医学部小児科教授/てんかんセンターセンター長

加藤 昌明 むさしの関分寺クリニック 院長

岩崎 真樹 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科 部長/総合てんかんセンター

大会事務局 谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部 医長/総合てんかんセンター
事務局長

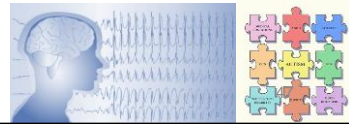
誰もとり残さない医療へ

Leave no epilepsy patient behind

2023.10/19 Thu.-10/21 Sat.

京王プラザホテル(東京)

- てんかん地域診療連携体制整備事業
- てんかん地域診療連携：移行期医療
- てんかん診療支援コーディネーター認定制度
- てんかん支援ネットワークの構築



(3) てんかん支援ネットワークの構築

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
National Centre of Neurology and Psychiatry

重要なお知らせ | COVID-19支援情報: コロナに負けない心のケア

NCNPは最先端の医療・研究で脳とこころの病の克服に取り組むナショナル・センターです。
National Center of Neurology and Psychiatry

研究 に関心がある方	精神保健研究所 神経研究所	TMC (トランスレーショナル・メディカルセンター) MGC (メディカル・グムセンター) IBIC (脳画像統合イメージングセンター) CBT (認知行動療法センター)	医療 に関心がある方	NCNP病院
---------------	------------------	--	---------------	--------

臨床研究審査委員会 | 摂食障害全国支援センター | てんかん全国支援センター

治療・臨床研究について | PADNI (パドニ) パーキンソン病とアルツハイマー病を対象とした臨床研究誌 | NCNPバイオバンク

てんかん全国支援センター

国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンターは、
てんかん診療における地域連携体制モデルの確立を行うことを
目的とした「てんかん全国支援センター」に指定されています。

- てんかん地域診療
連携体制整備事業について
- てんかん支援
拠点病院のご案内
- てんかん全国
支援センターについて
- てんかん診療支援
コーディネーター認定制度
- 活動報告
- 事業報告
- 関係機関へのリンク

当センターでは、てんかん治療や相談支援、普及活動などのほか、全国支援センターとして、各支援拠点病院から集積したデータの分析・評価、地域連携や支援体制のモデルの研究・開発、全国てんかん対策連絡協議会の設置などを行なっています。

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

てんかん支援ネットワーク

総合てんかんセンター

てんかんについて

新着情報

22.09.28 2022年度第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会と全国てんかん対策連絡協議会を開催します。
(開催日：2022年12月11日(日))
ZOOMウェビナー形式 申込締切日：12月9日(金)

[NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより](#) 49

てんかん支援ネットワーク構築

てんかん
支援
ネットワーク

MENU

- ホーム
- 一般の方/
ご家族の方へ
- てんかん医療に
関わっている方へ
- てんかん支援
ネットワーク施設一覧

てんかん 支援 ネットワーク

Epilepsy
Support Network
JAPAN



このサイトはてんかんの地域診療連携の推進を目的として
厚生労働省・都道府県およびてんかん学会・てんかん協会の支援を
下にてんかん地域診療連携体制整備事業により運営されています。

お知らせ
Information 2021.03.00 ホームページをリニューアルしました。

一覧へ >

[NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより](#)

50

てんかん支援ネットワーク施設一覧 Network

※但し、てんかんの診療次元が二次診療以上と自己申告している施設



 北海道	 東北	 関東・甲信越	 中部・北陸
 近畿	 中国	 四国	 九州・沖縄

てんかん支援ネットワーク

サイトポリシー | お問い合わせ

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

51

てんかん支援ネットワーク

MENU

ホーム

一般の方へ/
ご家族の方へ

てんかん診療に
関わっている方へ

てんかん支援
ネットワーク施設一覧



てんかん支援ネットワーク 施設一覧

Network

てんかん支援ネットワーク施設一覧には、都道府県ごとにてんかんの専門診療が可能な施設が郵便番号順に掲載されています。受診を希望される際には、てんかんという病気に関する情報、専門医に関する情報、及び各施設のホームページなどを参考にして、お近くのクリニックや病院の窓口へ直接お問い合わせ下さい。

 近畿

滋賀県	京都府	大阪府	 奈良県	和歌山県	兵庫県
-----	-----	-----	---	------	-----

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

52

療養病					
施設名	診療科	〒	施設別名	電話番号	
一般財団法人 がん研究 〇〇	脳神経内科、 脳神経外科	430-0218	東京府東部脳神経	0142-23-2000	
人工透析 〇〇	小児科	831-0810	東京府東部西大寺病院1-6-7	0142-90-3271	
医療法人社団 フラッシュ 〇〇	脳神経内科	430-0115	東京府東部大塚町1-10-1	0142-92-2071	
志村病院 〇〇	腫瘍科、内科	633-0122	東京府東部志村2390-1	0144-47-8999	
近畿大学医療院 〇〇	脳神経内科	430-0293	東京府東部中野町1246-1	0143-72-8000	
公益財団法人 東京よりうす健診有明院 〇〇	脳神経内科、 小児科	432-0552	東京府東部有明2300	0143-43-5811	
医療中央病院 〇〇	小児科	436-0302	東京府東部東津野町豊田404-1	0148-52-8000	
国立病院機構 東京医療センターてんかんセンター 脳 神経科 〇〇	脳神経科	436-0053	東京府東部七島2-709	0142-45-4001	
国立病院機構 東京医療センターてんかんセンター 脳 神経科 〇〇	脳神経科	436-0053	東京府東部七島2-709	0142-45-4001	
小児科 〇〇	内科、神経科、 耳鼻科	433-0053	東京府東部豊田240-1	0144-42-2200	
公益財団法人 社会福祉事業団 東京府東部医療院 〇〇	脳神経科	431-0022	東京府東部東津野町1-10	0142-43-1387	
公益財団法人 医療法人 東洋病院 〇〇	脳神経科	632-0006	東京府東部東三河町2470-8	0143-45-0072	
公益財団法人 東京福祉医療団 東京府東部脳神経科 〇〇	小児科、小児 神経科	430-0211	東京府東部東野町406-1	0142-92-9377	
公益財団法人 平沼記念病院 〇〇	脳神経内科、 脳神経外科	434-0813	東京府東部西三河町327	0144-29-2000	
公益財団法人 脳神経科 〇〇	脳神経科	430-0136	東京府東部西三河町310-1	0142-70-0022	
西立中央病院 〇〇	脳神経内科、 脳神経外科	430-4305	東京府東部三河町1-50-1	0142-24-2271	
こころクリニック 〇〇	小児科	430-0135	東京府東部東田原町1038	0143-71-8270	
東京府東部医療センター 〇〇	小児科	436-0802	東京府東部三河町三宮1-14-16	0140-52-0000	
東京府東部医療センター 小児科 〇〇	小児科	430-0581	東京府東部三河町2-087-5	0142-46-6001	
東京府東部医療センター 脳神経内科 〇〇	脳神経内科	430-0581	東京府東部三河町2-087-5	0142-46-6001	
東京府東部医療センター 脳神経外科 〇〇	脳神経外科	430-0581	東京府東部三河町2-087-5	0142-46-6001	
東京府立医科大学付属病院 小児科 〇〇	小児科	434-0322	東京府東部西三河町840	0144-22-2050	
東京府立医科大学付属病院 脳神経科 〇〇	脳神経科	434-0322	東京府東部西三河町840	0144-22-2050	
東京府立医科大学付属病院 脳神経内科 〇〇	脳神経内科	434-0322	東京府東部西三河町840	0144-22-2050	
東京府立医科大学付属病院 脳神経外科 〇〇	脳神経外科	434-0322	東京府東部西三河町840	0144-22-2050	
大和総合病院 〇〇	小児科	430-1013	東京府東部山手町1-1-42	0147-93-5000	

53
NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

てんかん診療クリニック、病院の登録をお願いします

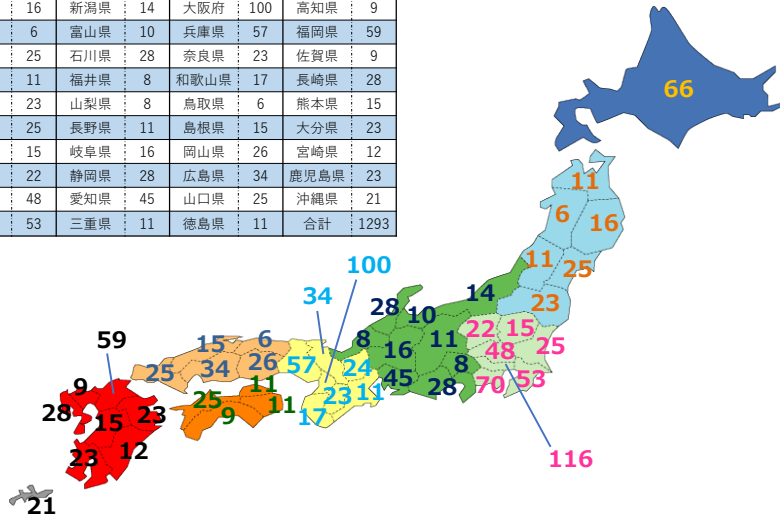
てんかん支援ネットワーク参加施設数、各診療科別登録数

地方別	施設数	各診療科 別登録数	内 訳					てんかん	その他
			小児・ 小児神経	脳神経 外科	脳神経 内科	精神科			
北海道	66	75	40	13	9	13	0	0	
東北地方	92	105	38	15	23	25	3	1	
関東地方	349	417	194	82	85	52	2	2	
中部地方	168	210	93	35	42	26	3	11	
関西地方	266	308	153	55	71	25	0	4	
中国地方	106	131	54	30	28	18	0	1	
四国地方	56	65	37	16	8	4	0	0	
九州沖縄地方	190	212	82	47	46	35	0	2	
合計	1293	1523	691	293	312	198	8	21	

54
NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

てんかん支援ネットワーク 都道府県別登録施設数

北海道	66	東京都	116	滋賀県	24	香川県	11
青森県	11	神奈川県	70	京都府	34	愛媛県	25
岩手県	16	新潟県	14	大阪府	100	高知県	9
秋田県	6	富山県	10	兵庫県	57	福岡県	59
宮城県	25	石川県	28	奈良県	23	佐賀県	9
山形県	11	福井県	8	和歌山県	17	長崎県	28
福島県	23	山梨県	8	鳥取県	6	熊本県	15
茨城県	25	長野県	11	島根県	15	大分県	23
栃木県	15	岐阜県	16	岡山県	26	宮崎県	12
群馬県	22	静岡県	28	広島県	34	鹿児島県	23
埼玉県	48	愛知県	45	山口県	25	沖縄県	21
千葉県	53	三重県	11	徳島県	11	合計	1293



NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより 55